



青山神明遺跡

発掘だより 7号



令和 7 年 2 月 1 日

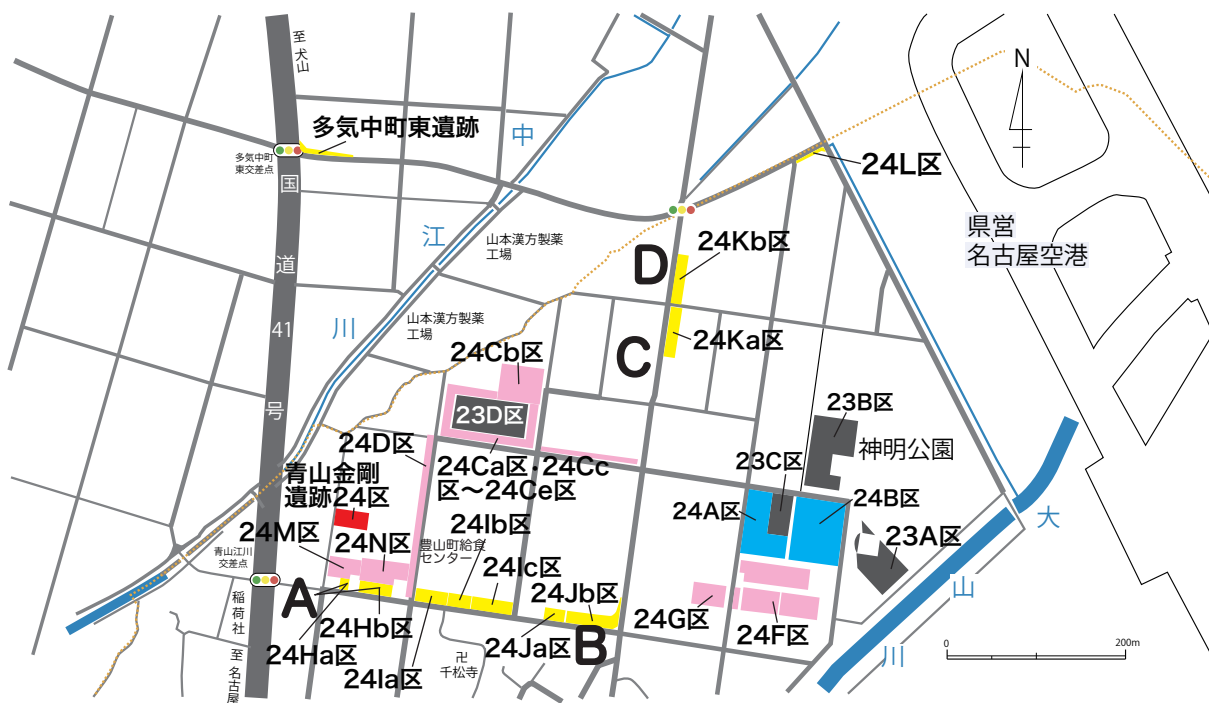
◆はじめに

今回の発掘だよりは、発掘調査を昨年の6月から始め、12月に終了した県道拡幅工事に伴う調査の成果（調査した箇所は右図の黄色部分）の報告です。以下主だった調査成果について述べます。

◆H区

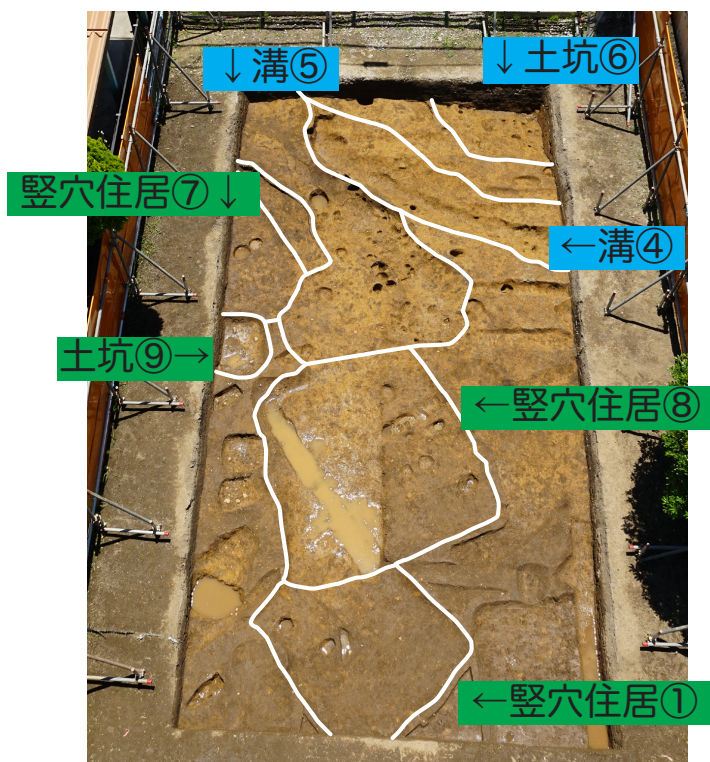
（地図のAの部分）

青山神明遺跡調査区位置図

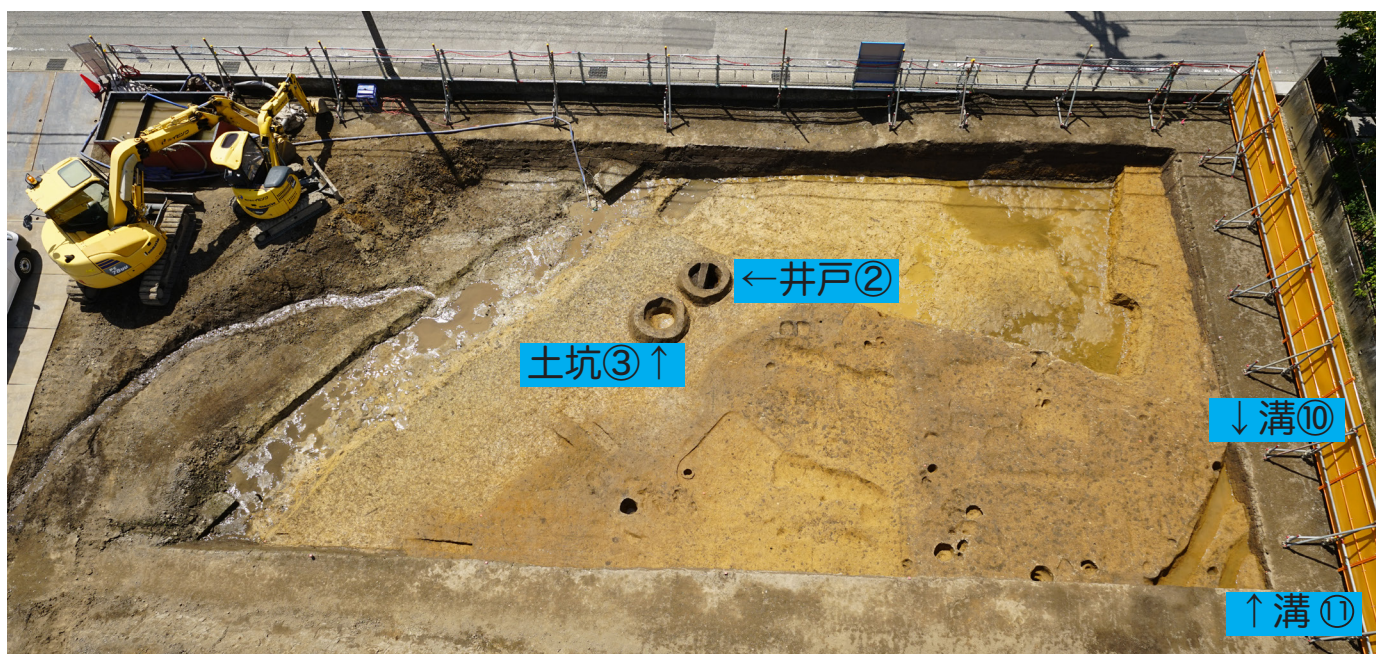


：防災局 ：金剛遺跡 ：道路整備課
：河川整備課 ：令和5年度調査箇所

H区は遺跡の南西隅にあたる地点にあり、奈良時代～平安時代（約1,300年～1,200年前）の竪穴住居10棟、土坑2基、平安時代末～室町時代（約900年～400年前）の溝4条、井戸2基、土坑11基、鎌倉時代～江戸時代（約800年～150年前）にかけての水田跡4筆などが見つかりました。この中でHa区の奈良時代の竪穴住居①は一辺2.3m～2.7m程の隅丸方形の平面で、深さは5cm程が残っていました。Hb区には平安時代末～鎌倉時代の井戸②と土坑③が並んで確認されました。土坑③は径0.9mの平面円形で、深さ60cm程の穴で、中から山茶碗、播鉢とともに礫が捨てられた状態で見つかりました。



Ha区全景（北上より）



Hb区西側全景（北上より）



奈良時代の竪穴住居①（南より）



鎌倉時代の井戸②（西より）



鎌倉時代の土坑③（西より）

編集



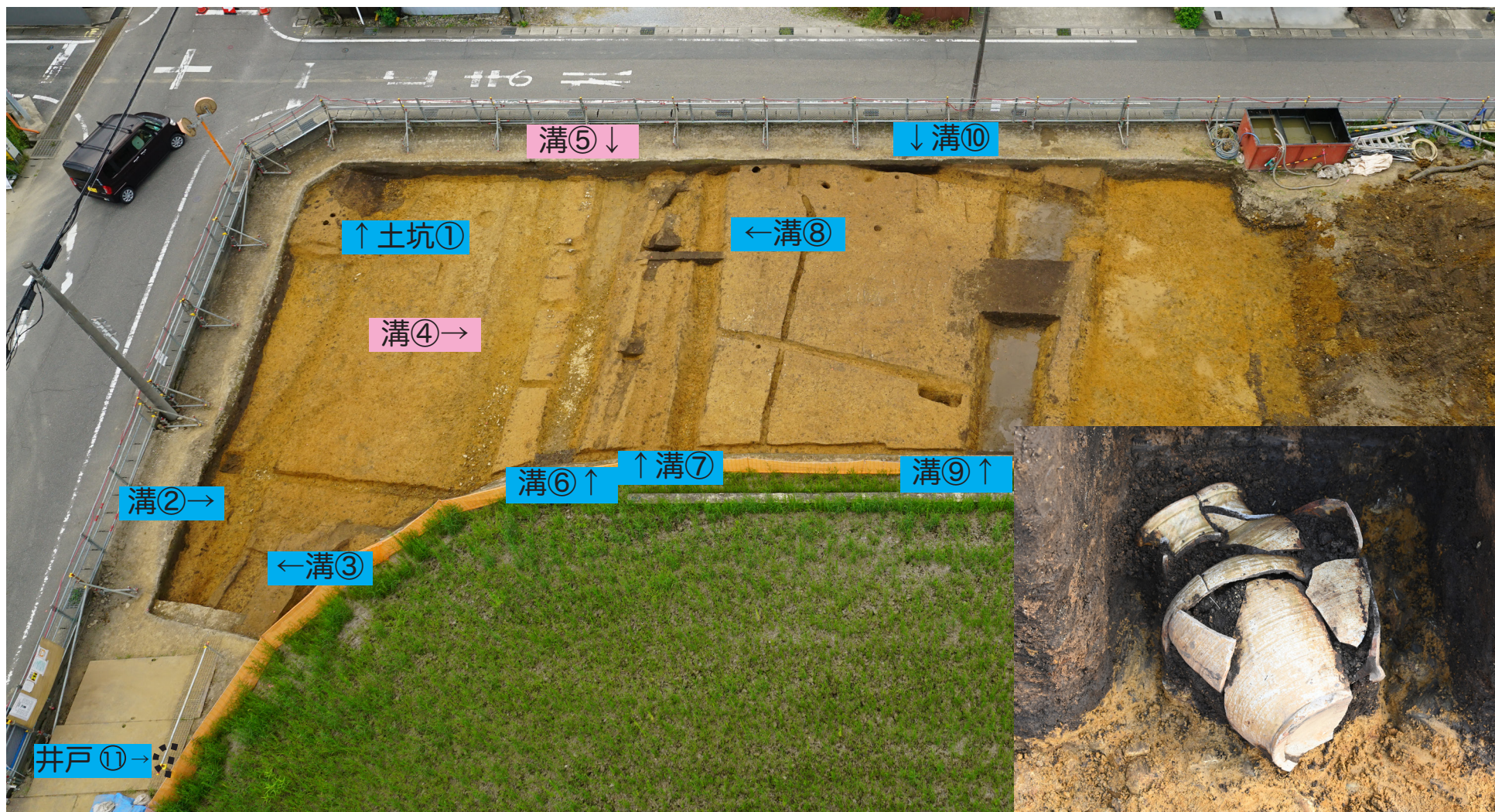
公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-2

<http://www.maibun.com>

◆ J 区（地図の B の部分）

J 区は遺跡の南側、豊山タウンバス「八劔神社」バス停の西にあります。^{かまくら}鎌倉時代～^{むろまち}室町時代（約 800 年～ 400 年前）の^{みぞ}溝 7 条、^{いど}井戸 3 基、^{どこう}土坑 1 基、江戸時代後期（約 200 年前）の^{みぞ}溝 6 条などが見つかりました。この中で^{かまくら}鎌倉時代（約 700 年前）の土坑①は、調査区の南東隅の壁の下に見つかった土坑で、径 2m 程の平面円形の大型のものでした。最下面には、^{かいゆうし}灰釉四耳壺がつぶれた状態で出土しました。この土坑の上や西には、^{みぞ}溝が南北にのびています。この壺は何のために埋められたのでしょうか。

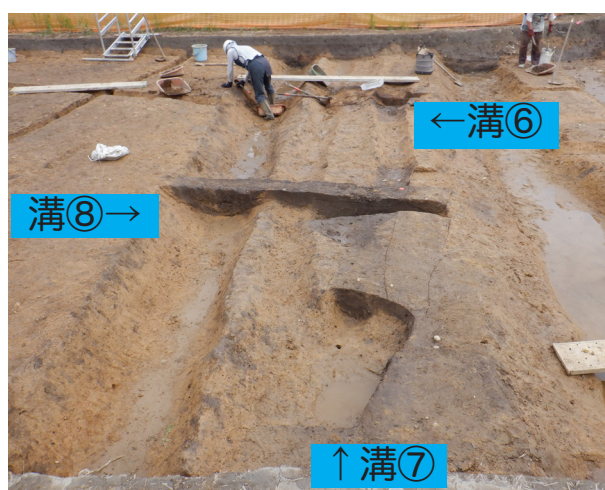


Jb 区東側全景（北上から）

鎌倉時代～室町時代の遺構

江戸時代後期の遺構

鎌倉時代の土坑①出土四耳壺（北より）



室町時代の溝⑥～溝⑧の作業風景（南より）



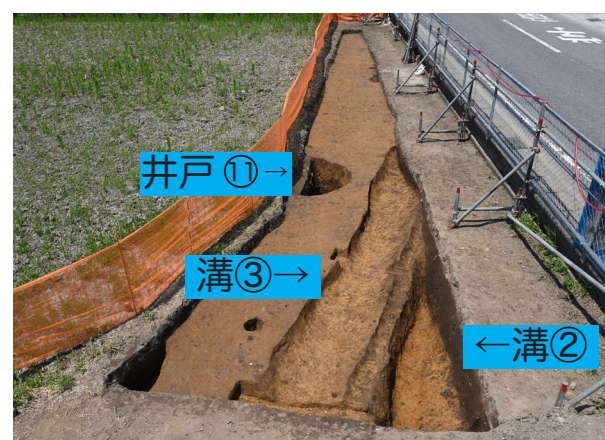
室町時代の溝⑩出土山茶碗（東より）



室町時代の溝⑨の測量風景（南より）



室町時代の溝⑥出土縁釉小皿（北東より）



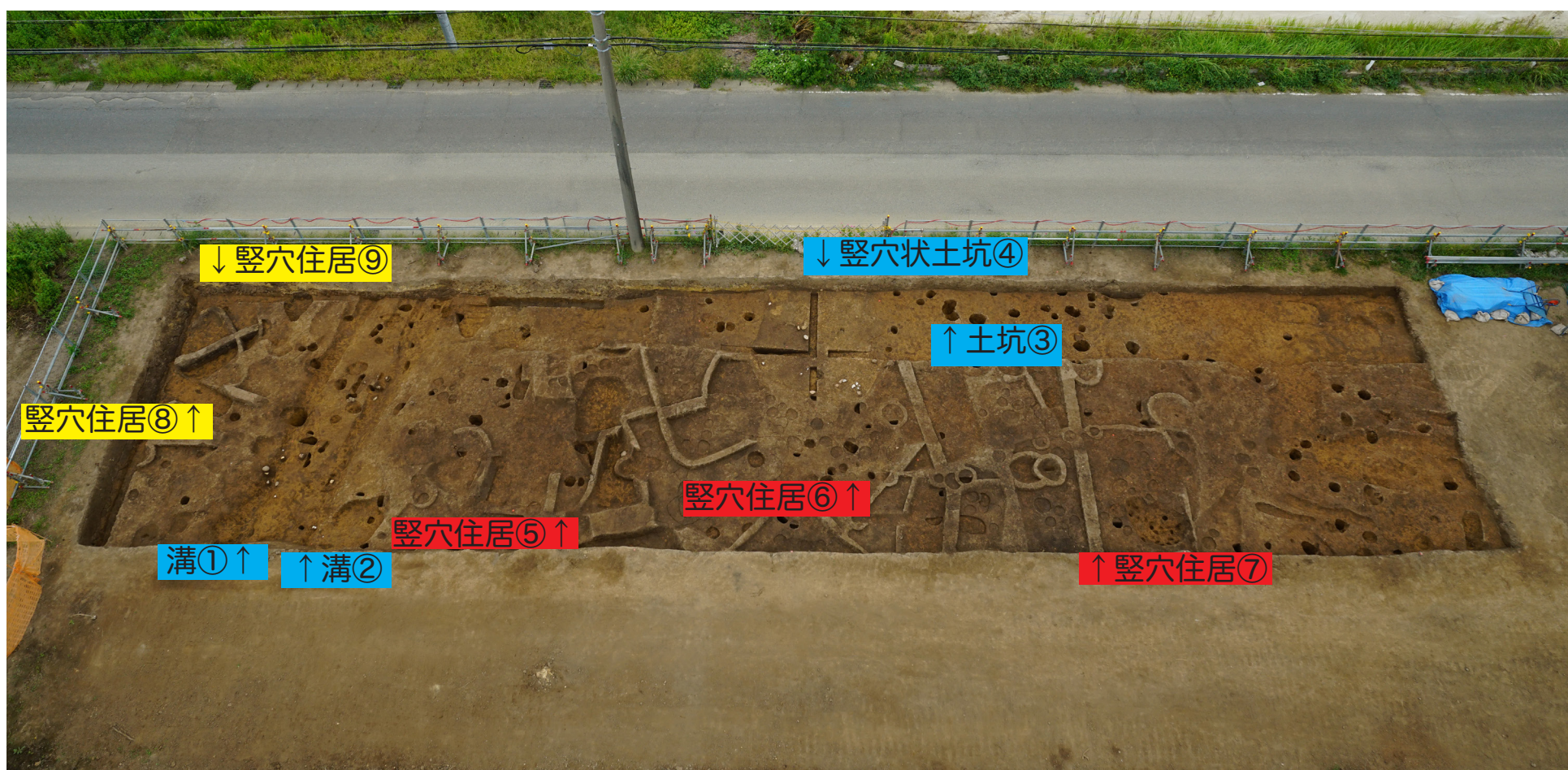
Jb 区北東側の溝②・溝③・井戸⑪（南より）



室町時代の井戸⑪ 断面（東より）

◆ Ka 区（地図の C の部分）

Ka 区は遺跡の中央部北側、豊山タウンバス「航空館 boon」バス停の西 250m にあります。古墳時代前期（約 1,700 年前）の竪穴住居 22 棟、土坑 3 基、古墳時代後期（約 1,450 年前）の竪穴住居 2 棟、平安時代末～室町時代（約 900 年～450 年前）の掘立柱建物 1 棟、竪穴状土坑 1 基、土坑墓 1 基、溝 6 条、井戸 1 基、土坑 12 基などが見つかりました。この中で Ka 区南側で確認された古墳時代前期の竪穴住居は、一辺 2m ～ 6m 程の隅丸方形から台形、長方形に床面を掘りくぼめたもので、深さ 3cm ～ 30cm が残っていました。中には炉が残っていた竪穴住居⑥や幅広溝を巡らした竪穴住居 450SI のように大型の竪穴住居もありました。



Ka 区南側全景（東上より）

古墳時代前期の遺構

古墳時代後期の遺構

平安時代末～室町時代の遺構



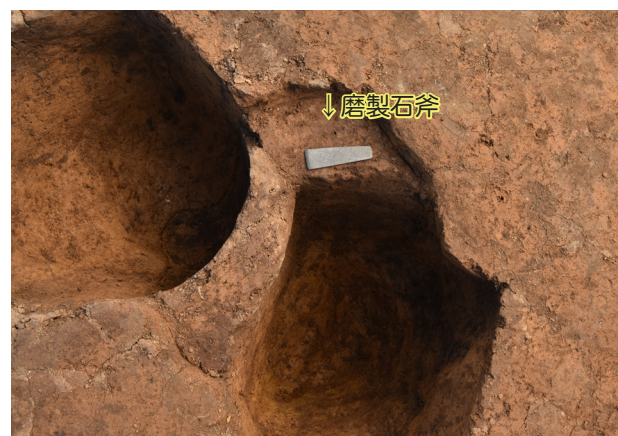
古墳時代前期の竪穴住居⑥（南東より）



古墳時代前期の竪穴住居⑦（東より）



古墳時代前期竪穴住居⑤出土柳ヶ坪型壺（北より）



土坑③出土磨製石斧（北西より）



鎌倉時代の竪穴状土坑④（北より）



幅広周溝の竪穴住居 450SI（北東より）

◆ Kb 区（地図の D の部分）

Kb 区は遺跡の中央部北側、Ka 区の北にあります。古墳時代前期（約 1,700 年前）の溝 1 条、江戸時代後期～近代（約 200 年～ 100 年前）の溝 5 条などが見つかりました。この中で Kb 区南側で確認された古墳時代前期の溝①は、幅 2m、深さ 1.5m 程の断面逆台形の溝で、調査区の中で東側が階段状に深くなっていました。溝の中からは土師器の壺、甕、高杯など多くの土器が出土しました。

また調査区の南側と北側に、江戸時代後期から近代にかけての東西方向の溝③～溝⑦がありました。農業などの用水路と思われます。



Kb 区全景（東上より）

古墳時代前期の遺構

江戸時代後期の遺構

時期不明の遺構



古墳時代前期の溝①（東より）



溝①出土土師器（西より）



溝①出土土師器検出作業風景（南より）



溝②（南西より）



江戸時代後期の溝③・溝④・溝⑤（東より）



江戸時代後期の溝⑥・溝⑦（西より）

◆まとめ

今回の調査により、古墳時代前期から江戸時代後期にかけての遺構と遺物が確認できました。特に古墳時代前期の竪穴住居からなる集落跡が確認できたことは大きな発見となりました。

また、近隣の住民の皆様、関係する機関の方がたには、発掘調査に際してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。